



人間関係の衝突回避機能は搭載されていない



あ〜何か涼しくなった…気がする

卓球シリーズランキング
(7月9日現在)

1位	岡田馨志	1675P
2位	森真澄	1070P
3位	YAYOPY	995P
4位	加賀の人	910P
5位	林寛	720P
6位	N.T	675P
7位	藤塚友子	670P
8位	大橋靖生	610P

七ツ杯結果
(優勝)岡田馨志(2位)平田亮男(3位)森真澄



スタッフ「メンバー足りたので入らなくてもいいです」門脇「えっ!?!」

デイケア
運動で夏バテ予防
養南病院のお隣の施設『梁山杜の会』との合同プログラムである「梁山とスポーツ」。体育館を借り、バレーボールを用意して準備は万端。担当の門脇真司作業療法士は「熱中症に注意してしっかりと水分補給をしましょう」と注意を喚起する。「今日は僕も一緒に楽しもうと思います! 燃えてきただあ!」熱中症じゃないでしようね?

デイケア
癒しの歌声
合唱プログラムをリユニアルしてスタートした「響け歌声」。講師の音楽療法士、日比祐子先生にインタビュを試みた。このプログラムのポイントは何? 「思い切り声を出して歌っている間だけでも嫌な気持ち忘れられるところですね」その穏やかな笑顔に記者もすっかり嫌な気持ちを忘れ、癒された。



まさしく癒し系である

打倒! 院長!
デイケアの中で卓球部が発足した。掲げる目標は「打倒! 院長!」。月に一度開かれていた卓球大会に時々思い出したように出場しては上位入賞する関谷院長に苦汁を飲まされたメンバーは数知れず。そんな院長を叩きのめすべく立ち上がったプログラムである。

中田さん「患者様とぬり絵の作品を作りました。実習中なのに楽しんじゃいました」
*自分自身が楽しむことも大事だと思います。
曾根さん「私は患者様とストロー笛を作って飼っているインコに聞かせました」
*それって楽しいんですか?



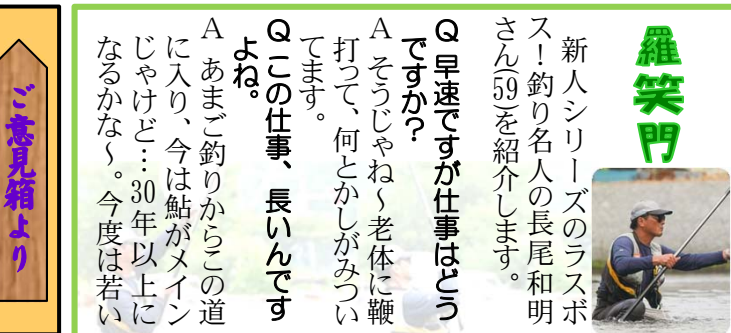
中田さくらさん (愛知医療学院短大) 曾根菜月さん (中部大学)

◆学生さんの声
*当院の作業療法課で実習中の学生さんに話を伺いました。



コソコソ偵察する院長

当の院長は「ふん。いつでもかかつてきなさいよ」と言いつつ額には汗が浮かんでいた。



羅笑門
新人シリーズのラスボス! 釣り名人の長尾和明さん(59)を紹介します。
Q 早速ですが仕事はどんなですか?
A そうじゃね、老体に鞭打って、何とかしがみついています。
Q この仕事、長いんですね。
A あまご釣りがこの道に入り、今は鮎がメインじゃけど、30年以上になるかな。今度は若い衆と鮎釣りに行きます。
Q 名人は、広島生まれですか? チョイチョイ語がでています。
A : 鳥取です。
Q ところで今一番力を入れている仕事は?
A 仕掛け作りじゃね。釣り場をイメージしてね。半日かかるんじや。
Q 前の職場と違いはありますか?
A 違いは鮎の香りじゃね。川によつて全然違う。
Q 最後に今年の抱負を
A 出来たら、30センチ大の鮎を釣りたいね。
Q あの、仕事の話は?

FM Gifu 80.0MHz
ぎふ防災ハンドブック 2016年度版
FM Gifu GLOBAL RADIO
養南新聞に水やり「エアコンに水やり」
室外機に水をやる大男。彼は決して花と間違えているわけではない。20年たつ厨房のエアコンが故障したため、冷却水が必要となったのである。川地さん、それって意味があるんですか? 「知らん」



発行所
社会医療法人緑峰会
養南病院
〒503-0401
海津市南濃町津屋1508
☎(0584)57-2511
Fax(0584)57-2513
http://www.yonan.or.jp
✉ younan@ogaki-tv.ne.jp

卓球シリーズ2016
全養オープン
8月1日(月) デイケア
★夏夏の大大会開催!



◆グループワークで悩みを共有

このほど27年度の研修修委員会の活動報告がなされた。26年度から形を変えて開始した家族教室だが、昨年度は「統合失調症」に延べ115人、「気分障害」に延べ68人が参加。(表1)また、参加家族の傾向等も示された。

(単位:人)

	統合失調症	気分障害
参加延べ	115	68
1回平均	19.2	11.3

〈表1〉

家族教室では、前半に講演、後半にグループワークを行う形をとっているが、アンケートでは特にこのグループワークの評価が高く、家族の悩みや疑問を話し合う貴重な場になっているようだ。今年度の家族教室は当事者参加型を採用し、これに関しても「一緒に話を聞くことで共通の話題ができた」

◆院内研修も充実
更に同委員会主催の院内研修の報告もあり、昨年度は年間43回開催され、延べ2502人が参加していたことがわかった。

開催回数	43回
延べ人数	2,502人
1回平均	58.2人

〈表3〉

職員のレベルアップを目指す研修内容は多岐に渡る。担当は各部署に割り振られ、研修を聞くだけではなく発表を経験することで更なるスキルアップを目指す狙い



「やっとな事務長の重責から解放されます!」

川崎事務局長は昭和58年病院創立時のメンバーの一人、平成16年、兄玉範彦前事務局長の後を受け二代目事務局長に就任した。その安定した仕事ぶりには定評があり、病院開設後33年にわたり養南病院を支え続けてきた功績は多大だ。後任には現総務部長の高橋憲治氏(52)が就任する。



かすれた声で発表する平田係長「風邪の予防には失敗しました」



納涼夏祭り開催!! 8月6日(土) 午後6時~9時



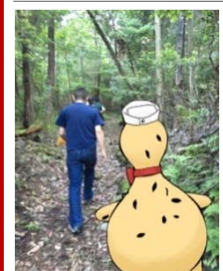
家族同士が話をするなど良い情報交換の場になっているようだ

◆家族教室
7月17日(日)、気分障害の家族教室が開催された。前半は「薬物療法」をテーマに薬剤師の渋谷雄太係長から講演があり、後半は患者・家族に分かれてのグループワークが行われた。終了後も家族同士が話をするなど良い情報交換の場になっているようだ。



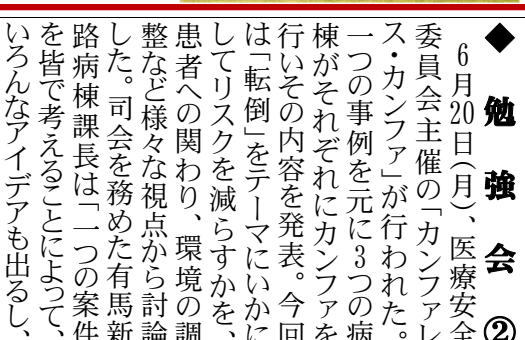
安田係長(北病棟) 有馬課長(西病棟) 小山係長(南病棟) 佐名係長(西病棟)

◆勉強会②
6月20日(月)、医療安全委員会主催の「カンファレンス・カンファ」が行われた。一つの事例を元に3つの病棟がそれぞれにカンファを行いその内容を発表。今回は「転倒」をテーマにいかにしてリスクを減らすかを、患者への関わり、環境の調整など様々な視点から討論した。司会を務めた有馬新路病棟課長は「一つの案件を皆で考えることによつて、いろんなアイデアも出るし、今していることが正しいか確認もできる。また機会を作って行いたい」と話した。



「ヒルなんです〜」 『歌ってないで取ってよ〜』

うどよか。山頂からの景色も最高ね。今から一緒に登りましょう。あ、服着たほうが良さそうです。山道にはヒルがいるたい。ヒル? キャー気持ち悪い! (これぞ本当の蛭(三三)クライムたい。(ドヤ顔) :。ハア?



『歌ってないで取ってよ〜』